

こふじ7・8月

令和元年7月19日 文責：上山田小学校長 園田 晃

上山田小の1学期を終えるにあたって

明日から、いよいよ37日間の夏休みが始まります。

昨年と一昨年この時期、県内は記録的な豪雨に見舞われ、各地に大きな爪跡を残しました。「今年は、このような雨にならなくてよかったですね」と、終業式の冒頭で述べたところでした。そのような中、昨年大雨で校舎が被害を受けたことにより、本校で教育活動を行ってきた熊ヶ畑小学校も再開に向けて準備が進んでいるようです。

さて、終業式の際に、子どもたちには「夏休み中に頑張してほしい3つのこと」として講話をする機会がありました。

その「3つ」とは、…

- ① 規則正しい生活を心がけること
- ② おうちの人のお手伝いをする・地域の行事などに参加し、自分の力を人のために積極的に役立てること
- ③ 危険に遭わない・事故のないよう、自分の命を大切にすること

であります。子どもの活動舞台がご家庭へと移ります。夏休みという長期休業時における成長は、「生活習慣・学習習慣の継続」「社会参画の態度形成」「自助・共助の精神の構築」と考えるところです。是非、ご家庭と地域において、子どもの健やかな成長にお力添えをいただきますようお願いいたします。

1学期の終わりにあたり、4月当初から本日まで子どもたちの登下校中の安心・安全への見守り、ゲストティーチャー等の学習活動への指導・援助、地域たんけん等で聞き取り学習にご協力頂いた地元事業所の方々、その他すべての校区の方々・関係機関の方々に、大変失礼ながらこの紙面でもってお礼申し上げます(本当に有難うございました)。

2学期もこれまで同様、どうぞよろしく願いいたします。

人型AIロボットペッパーが配置されました



▲子どもたちとかけ算九九で勝負しています!

先日、本校に「人型AIロボット」の‘Pepper’が配置されました。市内全小・中学校にプログラミング教育推進の一環として導入されたものです。本校でも、配置直後からいきなり子ども

たちの人気を独り占めにしています。

プログラミング教育というのは、情報機器などを効果的に活用しながら、様々な問題を解決に導く力を養うために行うものです。来年度(令和2年4月)から本格的に学校教育に取り入れられ、ロボット教材を使用したプログラミング教育が、市内小・中学校で展開される運びとなります。本校でも、毎朝子どもたちが職員室前に来て「おはよう!!」「元気?」などと語りかけると、‘Pepper’からも「元気だよ!!」と反応してくれます。「ラジオ体操」も正しく行うことができるほどです。

これから、様々な教科にプログラミングを取り入れながら、子どもたちの発想を豊かに育み、問題解決へのスキルを高めていきたいと考えます。本校職員・来賓玄関口で皆様をお待ちしています。是非ご来校いただき、‘Pepper’に話しかけてみて下さい。

NRT検査結果の公表について

さかのぼること3月上旬に実施したNRT(全国標準学力検査)の結果等を裏面に掲載します。本年度の標準偏差値は49.7となりました。前年度を0.4ポイント下回りましたが、ここ数年落ち着いた状況にあります。全国平均(50)を再度維持し、超えられるよう、学力向上に努めてまいります。



| 日 曜 | | 7月下旬の主な行事予定 | |
|-------------|---|--|-------|
| 19 | 金 | 第1学期終業式 大掃除 | |
| 20 | 土 | ※夏季休業(7月20日~8月25日) | |
| 21 | 日 | | |
| 22 | 月 | | |
| 23 | 火 | | |
| 24 | 水 | | |
| 25 | 木 | | |
| 26 | 金 | | |
| 27 | 土 | | |
| 28 | 日 | | |
| 29 | 月 | | |
| 30 | 火 | ときめき学習(9:00~ 山田市民センター) | |
| 31 | 水 | ときめき学習(9:00~ 上山田住民ホール) | |
| 8月の主な行事予定 | | | |
| 6 | 火 | 出校日 平和学習 | |
| 13 | 火 | ※学校閉庁日(8月13日~8月15日) | |
| 26 | 月 | 2学期始業式 大掃除 学級活動  | |
| 27 | 火 | 2学期対外学習(第1日) 給食開始 | ※木曜校時 |
| 28 | 水 | 2学期対外学習(第2日) 夏休み作品展(~31日) | ※木曜校時 |
| 29 | 木 | 委員会活動⑤ | |
| 30 | 金 | 折り鶴渡し | |
| 31 | 土 | PTA愛校作業(8:00~) | |
| 9月上旬の主な行事予定 | | | |
| 2 | 月 | 挨拶運動 どんどんタイム(5・6年) | |
| 3 | 火 | 代表委員会⑤ どんどんタイム(1・2年) | |
| 4 | 水 | 高校生職場体験(第1日) どんどんタイム(3・4年) | |
| 5 | 木 | 高校生職場体験(第2日) | |
| 6 | 金 | 高校生職場体験(第3日) わたしのエッセイ(締切) | |
| 7 | 土 | | |
| 8 | 日 | | |
| 9 | 月 | 校外学習(4年) どんどんタイム(5・6年) 教育実習生来校 | |

標準学力検査(NRT)

上山田小学校

1. 調査目的等

小学校1年生から6年生の児童の学力を把握・分析し、学校における教育指導の成果と課題の検証やその改善に役立てる。

2. 学校ごとの指標

○学校全体及び各学年が標準偏差値「50」に到達する。

3. 指標にむけての取組

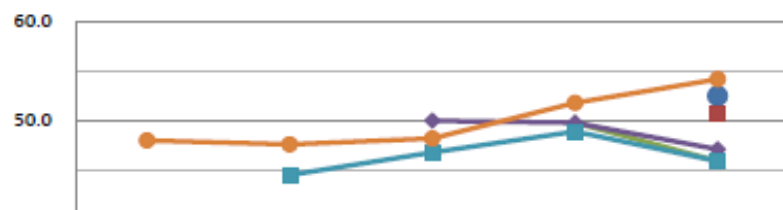
- ① 授業の充実の推進
 - 1単位時間内に必ず書く活動を位置づけた授業づくりを行う。
- ② 課題克服プリント(NRT問題・国語科・算数科)の実施
 - 朝活動の時間を活用し、専科教員の入り込みによる複数体制で個の課題に応じた指導にあたる。
- ③ 漢字コンクール、漢字検定の取組

4. 調査結果

※学校平均5年間の推移 (標準偏差値50に対して)

| 年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
|------------------------|------|------|------|------|------|
| 本校(A) | 49.7 | 47.4 | 47.6 | 50.1 | 49.7 |
| 嘉麻市(B) | 50.0 | 50.8 | 50.7 | 51.5 | 51.4 |
| (A) - (B) | -0.3 | -3.4 | -3.1 | -1.4 | -1.7 |
| 標準偏差値との差 (A) - (50) | -0.3 | -2.6 | -2.4 | 0.1 | -0.3 |

各学年の推移



| 学年 | 26年度実施 | 27年度実施 | 28年度実施 | 29年度実施 | 30年度実施 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 30年度1年生 | | | | | 52.5 |
| 30年度2年生 | | | | | 50.8 |
| 30年度3年生 | | | | 49.8 | 45.9 |
| 30年度4年生 | | | 50.0 | 49.8 | 47.1 |
| 30年度5年生 | | 44.5 | 46.8 | 48.9 | 45.9 |
| 30年度6年生 | 48.0 | 47.6 | 48.2 | 51.8 | 54.2 |

5. 各学校における分析

- 国語の「書く」領域においては、全国通過率に達しており、3年間の主題研修の成果が見られた。
- 課題対応プリントは年間を通して、朝活動の時間に実施してきたが、定期的な評価・改善が不十分であった。国語においては「読む」、「書く」の力は-7%と低く、年間を通じた徹底した取組が必要になる。
- 算数の「図形」領域は全国通過率に達しているが、「数と計算(5%)」、「量と測定(2%)」、「数量関係(8%)」の領域が達していない。とくに「数と計算」領域では、位取りや整数・小数・分数の乗法、除法の問題の反復・徹底を行う必要がある。
- 毎学期、漢字コンクールや漢字検定を実施したり、高学年(4~6年生)に全漢字のドリルを使わせたりするなど、年間を通して漢字力を付ける取組を行ったが、読み(80%)に対し書き(58%)が定着していない。日常の日記や作文で漢字を使う機会を増やしたり、国語・漢字辞典を活用させたりして、語彙力を増やす必要がある。

6. 各学校における今後の取組

- ① 授業づくり
 - 各教科における「書く(かく)活動」の位置付け
 - 算数科における見通しをもたせ、主体的に「考える力」をつける学習過程の徹底
 - 算数科重点単元における分割、習熟度別学習における個別指導の徹底
- ② 学習基盤づくり
 - 課題克服プリント(朝の活動の時間)、算数計算プリントの実施、徹底
 - 2学期末に集中した課題、反復練習の徹底
 - 漢字コンクール(学期に1回)・漢字検定(年1回)の実施、語彙力を増やす国語・漢字辞典の活用
- ③ 教員の指導力の向上
 - 教員と児童の授業アンケートにおける評価の共有
 - 主題研修における模擬授業、授業公開の実施
- ④ 家庭学習の習慣化
 - 保護者と連携した学期ごとの家庭学習振り返り週間の設定
 - 各学年の自学ノートの推進
- ⑤ その他
 - 未来塾など外部人材の活用

7. 嘉麻市教育委員会としての今後の取組

- ◎今後の取組を具体化し推進することができるように、特に、次の3点について指導助言及び支援を行うとともに、周知徹底できるように継続的に指導する。
 - ◆嘉麻市学力向上推進プランに設定した「書く(かく)活動」を核とした授業づくりを推進する。そのために、校内研修での授業観察指導を実施する。また、学力向上推進員による講師を対象とした授業改善指導を継続的に実施する。
 - ◆嘉麻市学力向上推進委員会に基づく学力向上検証改善委員会を開催し、単元テスト評価後の個に応じた習熟度別指導を取り入れた指導方法の工夫を推進する。そのために、習熟度別指導の単元づくりや個に応じた補充プリントの活用の仕方について指導する。
 - ◆短期スパンでの検証改善サイクルを推進する。そのために、学力向上推進委員会を機能させる指導助言や支援を行う。